

災害時の情報提供と障がい者支援体制整備を

(1) 避難者への情報提供について

高) この度の台風19号。避難者からは学校等避難所にテレビ、ラジオ等が無く情報を元に予測を立て行動するために設置をとの声。検討を。

市) ケーブルは来ているがテレビ本体がなく都では検討していると聞く。連携して設置したい。

(2) 避難所での障がい者への支援について

高) 視覚や聴覚、内部障害や難病の方等の状況を認識し支援する為4頂点にそれぞれ障がい内容を記したパンダナが有効かと。導入を求める。

市) 援助や配慮を必要としている方々を認識し支援につなげる為に導入に向け検討する。

(3) 聴覚等障がい者の救急車依頼について

高) 音声(肉声)による119番通報が困難な方の為携帯電話のウェブ機能で通報できる東京消防庁緊急ネット通報システムがある。申請方法等関係団体や対象者などへ周知し情報提供を。

市) 関係各課から団体や全庁にも徹底する。

(4) 高齢者のフレイル予防健診について

高) 治療への支援前に病気にならない予防に追い風を。とこれまで食育や運動の推進など提案して来た。国が健診項目にフレイルに関する質問を導入するとの発表。市の見解取り組みは。

市) 質問項目から見えて来る課題を健康寿命の延伸に活かす為医師会、関係部署と連携する。

(5) ぶんバス北町ルート乗車人数増へ

高) 座席数が少なく積み残しの現状解消を。又ベビーカーを積載出来ず乗車できない現状を解決し子育て世代の支援を求める。

市) 予備車の出動が80回の現状。道路幅員から車両は限定されるがコムーター型12人乗りを検討している。又ベビーカーの積載は認識しているが乗務員は車道に降車する事となり安全上対応できない。引き続き考えていきたい。

その他①災害時アマチュア無線市民にご協力を。②ロタウィルスの定期接種化開始の情報発信を。③高齢者肺炎球菌ワクチン接種率アップを質問。

公明党
高橋 りょう子



新たな視点と取組みで市政の一段の活性化を

職員研修 民間企業への派遣について

丸山) 今後職員にはゼネラリストとしてより一層の幅広い知見やマネジメント力が求められる。これを実現する上で民間企業への派遣は様々な文化に触れ、多様な経験をすることが出来、非常に効果的な手法と考える。市としての認識と今後の取り組みにつき確認したい。

総務部長) 民間企業派遣は人材育成の手法として大変有効なものとして認識。現在市では市内企業と連携協定等を行っているが、これを足がかりに企業派遣につき継続的に研究して参りたい。

北口ビルにデジタルサイネージ(電子看板)を丸山) 国分寺駅北口のcocobunji WEST 2階

に立体通路・ブリッジが架かっているが、ここにデジタルサイネージを設置出来ないか。同ビル5階のリオンホールでのイベント情報や、市政情報、店舗情報等、皆にとって有益な情報提供の場になる。また仮にCM等が打てれば設置・維持費用を最小化、あるいは持ち出しなしで運用出来ると考える。市の見解はどうか。

市民生活部長) 議員提案の通り、ブリッジ部分でのデジタルサイネージは設置場所として非常に魅力があり、多様な効果を生み出す可能性があるとして認識。設置活用について今後当該場所を管理する管理組合に提言して参りたい。

基金の運用について

丸山) 市では現状基金運用で金額上限を財政調整基金の10%迄とし、運用商品を国債、政府保証債、地方債に限定している。安全性を最優先することに異論はないが、資金のより効率的な運用という観点からすれば、より広い商品、例えば社債等も対象として取り扱えないか。

会計管理者) 東京都は社債を、また他市では金融債を購入している所があることを承知している。現状市として運用指針改正の予定はないが他市に遅れることなく研究検討を進めて参る。

その他 災害対応、空き家対策等につき質問。

自由民主党市議団
丸山 哲平



ペットボトル収集、幼保無償化、事前防災等

◎幼保無償化、待機児童、事業者への支援を

木島) 幼児教育・保育の無償化で対象とならない施設もある。保護者の経済的な負担を軽減するためにも何らかの補助をすべき。

市) 令和2年度の当初予算に反映したい。

木島) 事業者の事務負担軽減と保育士等の人材確保のためにさらなる支援の充実を。

市) 国や他市の状況を踏まえながら対応したい。

木島) 障害児保育の体制をさらに整えるためにも事業者への支援を講じていただきたい。

市) 事業者からの要望に応じていきたい。

◎台風や大雨等への対策(事前防災)について

木島) 住民の命を守り、より早い避難行動等の

判断につなげるため、大雨・洪水警報の発表前に災害対策本部を設置することも検討すべき。

市) 事前に想定される事態を予測し、早めの判断の必要性を感じている。検討したい。

木島) BCP(業務継続計画)の風水害編が未策定だ。災害時にあっても優先的に対応すべき事業などをあらかじめ明確しておくべき。

市) 地域防災計画の見直しと合わせて検討する。

◎街灯・道路照明灯のLED化を推進するために

木島) 計画目標から遅れが生じている。整備を加速化し、かつ、省エネルギーと維持管理費用を削減するため、民間との連携によるESCO(エスコ)事業を活用するべき。

市) 情報を収集し、検討していきたい。

◎ペットボトルの収集に関わる進め方について
木島) 有料化に関して。(関係審議会の)答申と、その後の市の方針に違いがある。理由は?

市) 現在でもかなりの量の資源プラスチックへの混入があるなど、有料化が必要と考えた。

木島) ペットボトルの戸別収集推進は理解するが、有料化については市民への丁寧な説明と理解を得るための努力が必要だ。

市) 議会や市民にさらに意見を伺う機会を持ち、説明していきたい。

公明党
木島 たかし



温暖化やプラスチック減量を市民とともに!

中沢) 担当委員会に報告された「ペットボトルの四月からの戸別収集に伴い、資源プラと合わせて十月から有料化」との方針が、突然変更・延期となった一突然で性急な方針で、消費者・市民にだけ経済的負担を押しつけるやり方ではプラ問題解決に貢献しないと批判してきたので変更は良いが、理由は何か。

市長) 議会への説明が十分でなく、庁議検討し時間を置いた議論と十分な説明をと変更した。

中沢) 本日11/2より気候変動国際会議(COP25)が開かれ、世界5位の温室効果が不排出国の責任は重大である。列島を襲った台風と豪雨の被害も地球温暖化の深刻さだ。一方でプラ

スチックの汚染被害も全世界と地球に。特に海洋プラを、審議会答申も論じているが、問題認識と解決の方向性は一致しているだろうか。

部長) プラスチック含有部分はかなり多い。マイクロプラスチックも体内まで入ってきており発生抑制にとり組まねばと考えている。

中沢) 市民一人当たり一日分の資源プラ排出量は37.5gで多摩の上位4位。これはよく分別しているからと思う。逆に可燃ごみは少ない方から3位ということになり、相関関係にある。

部長) その通りだ。

中沢) 資源プラの処理で1900tが民間事業に依るが、リサイクルと言って熱処理していないか

温暖化ガス排出の削減に貢献しているのか。

部長) 数字についてはわからない。

中沢) ペットボトルは一日一人当たり2.2gで最も少ない。買ったお店に返すとの市民の努力だ。

部長) そう認識しているところだ。

中沢) リサイクルセンターは、市民が地球的な課題に立ち向かう拠点として、知恵も創意も発揮して学習と協働の拠点となるように努力を。

部長) ささまざまな検討は行ってまいります。

他に、戸倉公園の早期開設、恋ヶ窪駐輪場についての改善、要望などで質問しました。

日本共産党国分寺市議団
中沢 正利

